

全銀EDIシステムの概要と金融機関の対応

ここでは、全銀EDIシステムの仕組みや機能、金融機関の対応などを解説します。

NTTデータ経営研究所
金融経済事業本部
金融政策コンサルティングユニット シニアマネージャー **加藤洋輝**

これまでの、総合振込の際に送信できるEDI情報は半角20桁までと限定されており、後続業務の合理化は難しい状況でした。ZEDIでは、XML電文によりEDI情報として多くの情報を格納することが可能です。例えば、月末に複数の請求書をまとめて合算したいする場合、その複数の請求書番号を含めたEDI情報を送ること

ができます。そのため、受取企業は自身で管理している請求書番号を用いて売掛金の消込作業をできるということです。

20年XML電文に移行

ZEDIは、支払企業と受取企業との金融EDI情報（支払明細・商流情報）の授受を一括対応するセンター集約のシステムです。具体的にはZEDIは支払企業から送信されるXML電文を格納、仕向銀行が全銀システムに送信する電文形式に変換した後に被仕向銀行へ送信します。ZEDIによって、金融機関内のシステムや全銀システムは従来の電文形式で処理できるため、ZEDI以外のシステムに大規模な開発が発生しない設計になっています。

ZEDIは2018年12月25日の稼働時に一部の企業で利用が開

POINT

ZEDIにより、商流情報をXML電文で受取企業に送信できる

Q1 全銀EDIシステム（ZEDI）って何？なぜ注目されているの？



A 全銀EDIシステム（ZEDI）とは、総合振込の際に、支払通知番号や請求書番号等の商取引に関する情報（商流情報）をXML電文で受取企業に送信することを可能にするシステムです。XML電文の授受により、受取企業は売掛金の消込作業を効率化できる、支払企業は入金照合に関する受取企業からの問合せ対応を削減できるなど、事務負担の軽減が期待されます。

全銀EDIシステムは、今後利用者の増加が見込まれます。金融機関の担当者としては特徴を理解し、企業の利用を推進する必要があります。

本特集では、全銀EDIシステムの仕組みや機能、企業への案内方法などを解説します。

特集

2018年12月にスタートした全銀EDIシステムは、今後利用者の増加が見込まれます。金融機関の担当者としては特徴を理解し、企業の利用を推進する必要があります。

本特集では、全銀EDIシステムの仕組みや機能、企業への案内方法などを解説します。



マンガで学ぶお客様への利用案内のポイント

「全銀EDIシステム」の仕組みと説明法